

3月市議会が始まります

3月市議会が告示されました。2月18日には議会運営委員会が開催され、日本共産党市議団は「最低賃金大幅引き上げとなる支援策と財政措置を求める意見書」(案)を提出しました。

また、来年度の予算議案書も配布されました。

令和8年度の川口市の一般会計予算案は、2569億7千万円で過去2番目の規模の予算案となっています。

また一般質問の予定が決まりましたのでお知らせします。

3月9日(月) 10時 金子ゆきひろ議員

3月11日(水) 13時 ふじしまともこ議員

◎議会は傍聴できますので、傍聴にお出かけください。

◎また川口市議会ホームページから、インターネットで視聴できますのでご利用ください。

3月の無料法律相談

◎日時／3月10日(火) 18時～

◎会場／日本共産党埼玉南部地区委員会事務所2階

川口市前川2-28-10 電話 048-267-8411

事前に電話予約の上、お越しください。なお、申し込みの際は氏名、電話番号をお伝えください。当日は筆記用具などご持参ください。

主催：日本共産党川口市議会議員団

きじばとの廃止に伴う対応について

2月10日(火)に保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別委員会が開かれ「生活介護きじばと及び就労支援きじばとの廃止に伴う対応について」報告がありました。

進捗状況について(令和8年1月6日現在)

	生活介護	就労支援
定員	30	20
登録者数	26	19
面談実施	25	19
見学実施	23	10
実習実施	15	4
転所先決定	9	3



生活介護きじばとについては、1月6日時点で26人居る利用者のうち17人も転所先が決まっています。それに対して市は、転所調整が進んでおり、令和8年3月末までにすべての利用者の転所先が決定するように、引き続き丁寧に転所調整に取り組むと主張しています。そもそも市の都合で1年もない短期間で転所先を決定しようとしている時点で丁寧な取り組みとは言えません。期間延長など配慮が求められます。

就労支援きじばとは、19人中16人の転所先が決まっています。利用者の転所調整が難航しており、令和8年3月末までにすべての利用者の転所先を決定することが困難であると見込まれることから、事業継承が可能な民間事業者を公募し、承継先事業者による事業開始までの間は、川口市社会福祉事業団による継続運営を行うとしています。幅広く公募して選定委員会で業者の審査をし適性を図るとのことです。

公募のスケジュール

令和8年4月予定	募集要項の公表
4月予定	応募者向け説明会
5月予定	選定委員会(プロポーザル方式)
5月予定	事業者の決定
令和9年4月以降	事業継承

新川口

2026年2月22日 No.1826

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ



新市長に緊急要望書を提出

市民の聲が生きる市政へ全力でがんばります

2月8日から岡村ゆり子市長の任期が始まりました。

日本共産党川口市議団は、市長の就任と3月市議会の開会前に岡村市長に「市民の福祉・暮らしを守るための緊急要望書」を提出しました。

新たな市政のもとでも、憲法を暮らしに生かし市民の声ですすめる市政の実現へ党市議団も全力でがんばります。以下、要望書の全文を紹介します。

川口市長 岡村ゆり子様

市民の福祉・暮らしを守るための緊急要望書

記

市長就任にあたり、今後、川口市政が市民の聲が活かされ、住民主権のまちづくりを進めて頂けるよう期待いたします。

日本共産党川口市議会議員団は、憲法を市政に生かし市民が主人公のまちづくりの実現に向け議会に臨んでいます。

今、川口市政に求められているのは、物価高や公共料金の負担増、医療や福祉など社会保障の削減がされる政治から、60万市民の暮らしと営業を守る市政への転換です。これまでの市政は、上下水道料金の大幅値上げ、公共施設等の使用料の引き上げ、総事業費517億円の街路整備事業や川口駅周辺での莫大な開発事業を推し進める一方、介護や障害者福祉の切捨てなど、市民に冷たい市政です。

こうした中、党市議団に寄せられた市民の聲を集約し、これまで毎年度、川口市への予算要望書を纏め提出してまいりました。

地方自治体として各種施策の充実を強く求めることと合わせ、市民生活の安心・安全と福祉・暮らし・防災・環境を優先したまちづくりを重点に岡村市長就任にあたり、緊急の要望をまとめましたので、新年度を前に早急に対応策をとっていただけるよう要望します。

- 一、4月からの上下水道料金の引き上げを前に物価高で苦しい市民生活を守るための負担軽減策を求めるとともに、低所得者への減免策を創設すること。
- 一、3月いっぱい廃止される市の障害福祉事業所きじばとは、就労継続事業所だけでなく、生活介護事業所の利用者の居場所が未だ決定していません。4月以降も、当面、社会福祉事業団での自主事業として継続することを早急に決断すること。
- 一、小学校体育館へのエアコンの設置は、今後10年間で設置する計画となっていますが、昨今の夏の猛暑への対応として計画を前倒ししてすすめること。
- 一、国民健康保険税の川口市独自の軽減制度の維持と拡充に努めること。
- 一、保育所や医療・介護・障害福祉など事業所とケアワーカーの支援策の拡充と地域格差のない報酬・公定価格の実現を国に求めること。
- 一、市内全域の公共交通の充実と、高齢者の移動の自由を保障するため市内路線バス運賃の軽減を図る川口市独自のシルバーパスを実施すること。
- 一、川口駅周辺のまちづくりについては、中距離電車停車のためのホーム増設と駅舎改修の費用が市の過大な負担にならないように見直しを行うこと。